

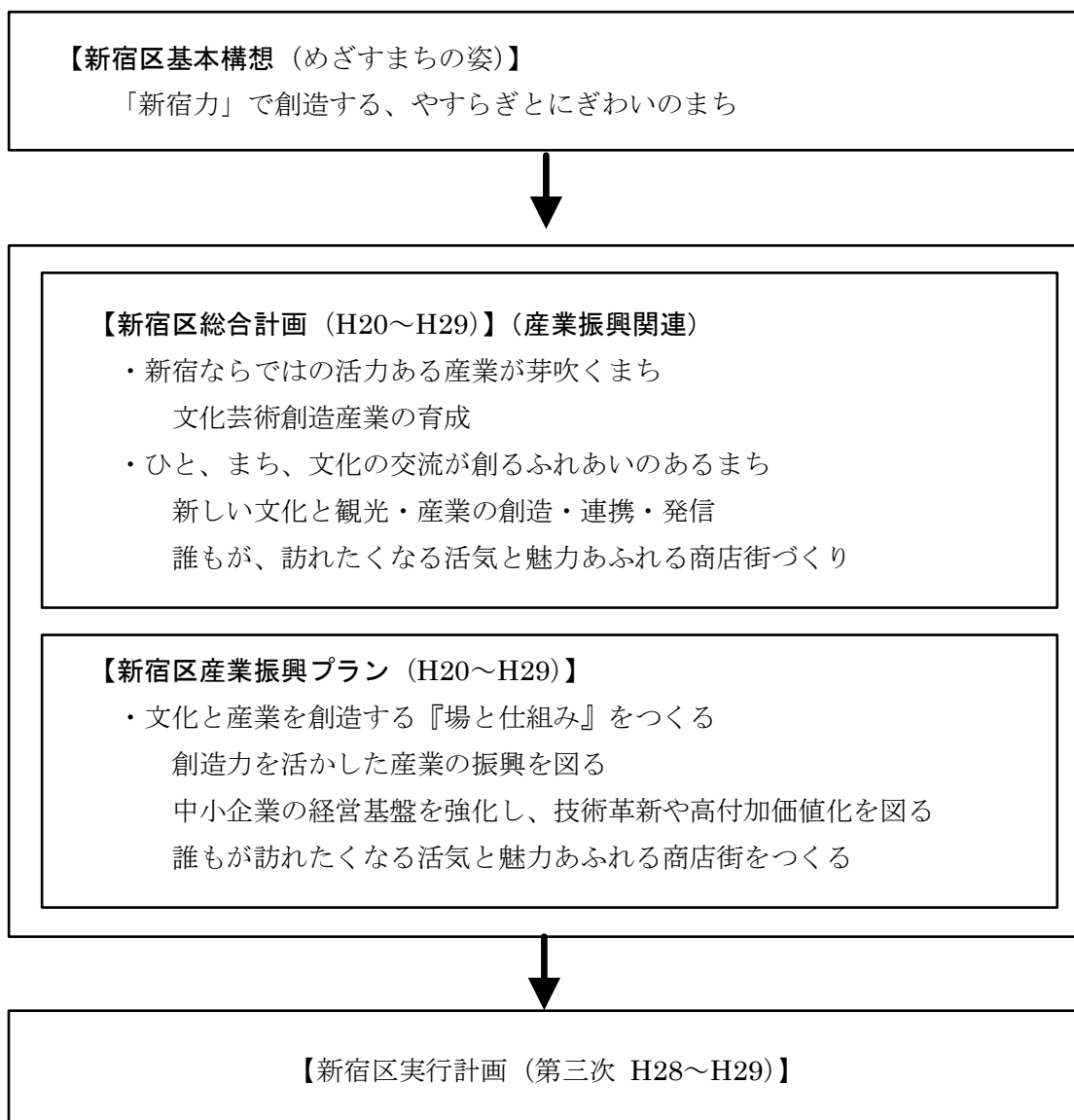
次期「新宿区産業振興プラン」の策定について

1. 次期「新宿区産業振興プラン」について

(1) 期間

平成 30 年度から平成 39 年度（10 年間）

(2) 新宿区産業振興プランの位置づけ（現行）



2. 検討方法

(1) 産業振興会議の役割

次期「新宿区産業振興プラン」の方向性を産業振興会議で検討頂き、平成 29 年 8 月に第 3 期産業振興会議からの意見として区長に報告いただく。

(2) 検討部会の設置

短い期間の中、産業振興プランの方向性を全体会議で検討いただくことは難しいため、プラン策定のための検討部会を設置する。

①メンバーの選定

学識経験者（3 名）＋希望する委員

②開催回数

3 回程度

(3) 産業振興プラン策定支援

産業実態調査の結果、その他統計資料、他自治体の事例、区内企業の抱える課題等を踏まえた、プランの策定支援を民間事業者に委託する。

平成 29 年 3 月 プロポーザルにて委託事業者を選定予定。産業振興会議での議論が先行するが、平成 29 年 4 月から会議に参加し、会議の意見をもとに素案作成の支援を行う。

3. スケジュール

別紙「産業振興プラン策定スケジュール」参照

4. 区内産業の現状と課題

(1) 区内産業を取り巻く環境の変化

- ・リーマンショック、東日本大震災の発生
- ・経済のグローバル化、情報化社会の進展
- ・少子高齢化、人口減少、個人の価値観の変化、ライフスタイルの多様化
- ・訪日外国人観光客の増加
- ・2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催
- ・「第 4 次産業革命」によるさらなる社会環境の変化

(2) 区内商店街の現状と課題（「商店街のにぎわい創出に向けた調査」結果より）

①現状と課題

- ・ 商店会活動の担い手
 経営者の高齢化、後継者の不在
- ・ 空き店舗
 所有者に貸し出す意向がない
- ・ 特定の業種の不足

②今後の方向性

- ・ 外国人観光客への対応
- ・ P R や情報発信
- ・ 空き店舗対策と必要な業種の誘致
- ・ 商店会組織の運営と新たな担い手の育成

(3) 区内事業所の現状と課題

①現状と課題

- ・ 経営者の高齢化、後継者の不在

※その他、産業実態調査の結果を受け、次回会議で検討

5. 次期「産業振興プラン」の方向性

詳細は産業実態調査の結果、課題を把握した上で検討

【新宿区基本構想（めざすまちの姿）】（継続）

「新宿力」で創造する、やすらぎとにぎわいのまち



【新宿区総合計画（H30～H39）】（産業振興関連）

基本政策：賑わい都市・新宿の創造

個別施策：活力ある産業が芽吹くまちの実現

魅力ある商店街の活性化に向けた支援

【新宿区産業振興プラン（H30～H39）】（第2期までのまとめ）

新宿区の特性を活かした産業振興

○チャレンジ精神をもった企業の支援

- ・業種の枠を超えた支援（テーマ別、目的別）

海外展開、自社ブランド・製品の開発、新分野への進出

- ・新たな価値創造、新産業創出

創業、産学連携、企業間連携

- ・人材育成、事業承継

○観光と一体となった産業振興

- ・観光関連産業の支援

- ・まちのブランドづくり

- ・オリンピック前後を意識した戦略